

平成 27 年度長久手市放課後子ども教室事業の進捗状況

1 運営委員会（年 2 回予定）

	開催日時・場所	内 容
第 1 回	平成 27 年 11 月 18 日（水） 午後 3 時 30 分～ 西小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度長久手市放課後子ども教室事業報告について ・平成 27 年度長久手市放課後子ども教室事業の進捗状況について ・放課後子ども総合プランについて
第 2 回	平成 28 年 2 月 8 日（月） 午後 3 時～ 市役所	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年度長久手市放課後子ども教室事業の進捗状況について ・平成 28 年度長久手市放課後子ども教室事業計画について

2 開室日時

開室期間：平成 27 年 4 月 9 日（木）～平成 28 年 3 月 31 日（木）

開室時間：（通常）学校下校後（午後 2 時 30 分）～午後 4 時 50 分
（長期休業日等）午後 1 時 30 分～午後 4 時 50 分

休 室 日：土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）、
学校行事による休業日

3 開室場所

- (1) 西小学校 1 階 放課後子ども教室（日により、校庭、体育館、図書室も利用）
- (2) 南小学校 1 階 放課後子ども教室（日により、校庭、体育館、図書室も利用）

4 教室参加決定者数

（平成 27 年 4 月 9 日現在）

	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	合計	待機
西小	23	18	11	8	0	0	60	22
南小	14	26	15	2	3	0	60	17



（平成 28 年 1 月 31 日現在）

	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	合計	待機
西小	22	16	11	8	0	0	57	17
南小	22	36	18	5	2	0	83	0

※西小については、現在追加手続き中です。

5 参加者数・・・（資料 4）

6 職員体制

- (1) コーディネーター 2 名、指導員 8 名で 2 教室を運営

- (2) 平日は、指導員 3 名を配置。長期休業期間中は、指導員 2 名を配置（参加者が少なくなるため）。

7 体験プログラム事業

4～5月：準備期間（ボランティア講師への依頼、打合せ、準備等）

6月以降：体験プログラム実施

ア 子ども絵手紙教室 《継続》

指導者：生田 範子さん始め、絵手紙を楽しむ会
「わたぼうし」の皆さん

内 容：絵手紙の描き方を学び、作品づくりを楽しむ。

イ 子ども茶道教室 《継続》

指導者：坂崎 栄子さん、浅井 弘子さん
酒井 都子さん（長久手市国際交流協会）

内 容：茶道の礼法を学び、抹茶の飲み方、菓子の食べ方を教わる。

ウ 子ども将棋教室 《継続》

指導者：白村 一幸さん
(南小放課後子ども教室コーディネーター)

内 容：将棋の基本、駒の名前、動かし方、指し方を教わる。

エ キッズ防災教室 《継続》

指導者：市橋 洋子さん始め、
あいち防災リーダー会尾張ブロック
長久手支部の皆さん

内 容：防災の基礎知識、自分の身を守るために
できることを学ぶ。

オ アロマテラピー 《新規》

指導者：金子 みゆきさん

内 容：アロマテラピーの基礎知識を知り、
自分自身で楽しんだり、家族の人に

楽しんでもらったりする。

カ 工作教室 《新規》

指導者：放課後子ども教室指導員

内 容：身近な紙コップ、紙皿、折り紙を使って
作品作りを楽しむ。

キ ゲーム 《新規》

指導者：放課後子ども教室指導員

内 容：室内ゲームをすることで、
仲間意識を高める。

ク 映画 《新規》

指導者：放課後子ども教室指導員

内 容：人気のあるジブリ作品、日本昔話などを
中心に鑑賞し、楽しむ。

ケ 踊りフェスティバル 《新規》西小のみ

指導者：鈴木 香代子さん始め、
なかよし会（民謡）の皆さん。

内 容：振付を覚えて、元気のよい音楽に
合わせて、みんなで踊りを楽しむ。

コ (英語の) 読み聞かせ 《新規》

指導者：ぽっしゃんクラブ
(佐野 尚人さん、中島 和代さん)

内 容：長久手市に残る伝承民謡などを
読み聞かせ、長久手市に伝わる
伝承内容を知る。

サ 絵画（デザイン）教室 《新規》南小のみ

指導者：近藤 睦さん

内 容：テーマに沿って絵を描いたり、
デザインの基礎を学んだりする。

シ 囲碁教室 《新規》南小のみ

指導者：白村 一幸さん

（南小放課後子ども教室コーディネーター）

内 容：囲碁を基礎から学び、ミニ碁を使って
初心者、経験者に関わらず囲碁を楽しむ。

ス つまみ細工 《新規》

指導者：横地 春美さん始め作楽愛のみなさん

内 容：江戸時代から伝わる伝統工芸である
つまみ細工で、日用雑貨や置物などを
作成する。
写真は笠地蔵のクリップ。

8 ボランティアによる協力

(1) 体験プログラム講師

登録人数：32人（平成28年1月31日現在）

活動内容：各体験プログラムの指導

(2) 見守りボランティア

登録人数：10人（平成28年1月31日現在）

活動内容：日々の子どもの見守り、学習補助、遊びの指導など

参加延べ人数

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
西小	0	0	6	11	1	9	8	14	23	15
南小	2	4	19	11	8	17	15	19	30	16
計	2	4	25	22	9	26	23	33	53	31

9 児童クラブとの連携プログラム

(1) 西小学校放課後子ども教室と西児童クラブ

日時：平成27年12月22日（火）13時半～15時40分

場所：西小学校体育館

参加：放課後子ども教室児童（20人）児童クラブ児童（17人）

13:30	はじめのあいさつ ①全員じゃんけん（自己紹介） ②カメラと傘 ③太郎と花子 ④世界一じゃんけん チームわけ ⑤3億円ゲーム ⑥スポーツ鬼ごっこ
15:00	休憩（水分補給、トイレ）
15:15	⑦障害物競走
15:40	おわかれのあいさつ →みんなで後片付け

(2) 当日の様子：西小学校



はじめのあいさつ
知らない子もいる中で
少し緊張気味の児童たち…。



西小学校放課後子ども教室
コーディネーターの中村先生から
ゲームのルール説明を受けます。



自己紹介をしながら全員じゃんけん！
だんだん緊張もほぐれてきました。



他学年の児童でも関係なく、
みんなで協力して遊べました。

(3) 南小学校放課後子ども教室と南児童クラブ

日時：平成27年12月22日（火）14時～15時半

場所：南小学校体育館

参加：放課後子ども教室児童（36人）、児童クラブ児童（42人）

14:00	はじめのあいさつ ①リズムでタッチ ②仲間集めゲーム ③ホームランねこねずみゲーム ④並びかえゲーム
14:45	休憩（水分補給、トイレ）
14:55	⑤名前ビンゴ 交流会セレモニー（メッセージカードを書き、交換）
15:30	おわかれのあいさつ →みんなで後片付け

(4) 当日の様子：南小学校



少し緊張しつつ、高学年の児童が低学年の児童に声をかける場面も！



名前でビンゴ！
学年を問わず仲良しに



メッセージカードを書いています。



メッセージカードが完成！
「たのしかったよ」
「また遊ぼうね」といった
メッセージがたくさん！

(5) プログラムについて ※：第1回運営委員会指摘事項

課題	西小学校	南小学校
※移動 (安全面)	(児童クラブの児童へ) 行き帰りのルート、気をつける点や、施設内のマナーについて話し合った。	
※内容	各放課後子ども教室の特色がよく出ていた。	
	スポーツでの真剣勝負を通し、自然と児童同士が応援し合うように。	プログラム内容を、児童が会話しなければ成立しないものにした。
進行	職員が主体となって行った。 次回は児童に任せるきっかけに。	児童クラブ児童が主体となって行った。 次回は、放課後子ども教室の児童と協力してもよい。
良かった点	〈西小学校〉 ・規律を守って遊ぶことができた。(放課後子ども教室指導員) ・児童クラブの児童は、普段中々広いところで遊ぶ機会がない	

	<p>め、自由に走り回ることができて、とても満足そうだった。(児童クラブ職員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラム内容が運動会のように、児童全員が真剣に取り組んでいた。(放課後子ども教室指導員・児童クラブ職員) <p>〈南小学校〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メッセージカードを書くことで、より思い出深いイベントになった。(放課後子ども教室指導員、児童クラブ職員) ・進行が児童クラブの児童だったため、多少の職員のフォローはあったが、練習どおりに行うことができた。児童の自信にもつながったと感じる。(児童クラブ職員) ・次回は、放課後子ども教室の児童に進行を任せることも検討していく。(放課後子ども教室指導員)
<p>次回課題 コーディネーター、児童クラブ嘱託員より</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の連携プログラムで、課題の1つであった小学校への移動がスムーズにできた。 ・しかし、今回のプログラム内容は、連携プログラムでなくてもできるものだった。今後は、プログラム内容を精査していき、<u>連携プログラムでしかできないこと</u>をしていく必要がある。 ・連携プログラムをする際、<u>まとまった時間の確保</u>が必要であるが終業式のあとなど、日が限られてくる。 ・大がかりなものだけでなく簡単な内容でもよいなら、木曜日の一斉下校の時などでもよいのでは。 ・連携プログラムの翌日、放課後子ども教室に参加していた児童(女子5名)が、児童館へ遊びに来ていた。イベントは、ただやって終わりではなく、その後が大切。次回連携プログラムも、次に繋がりのあるものにしたい。